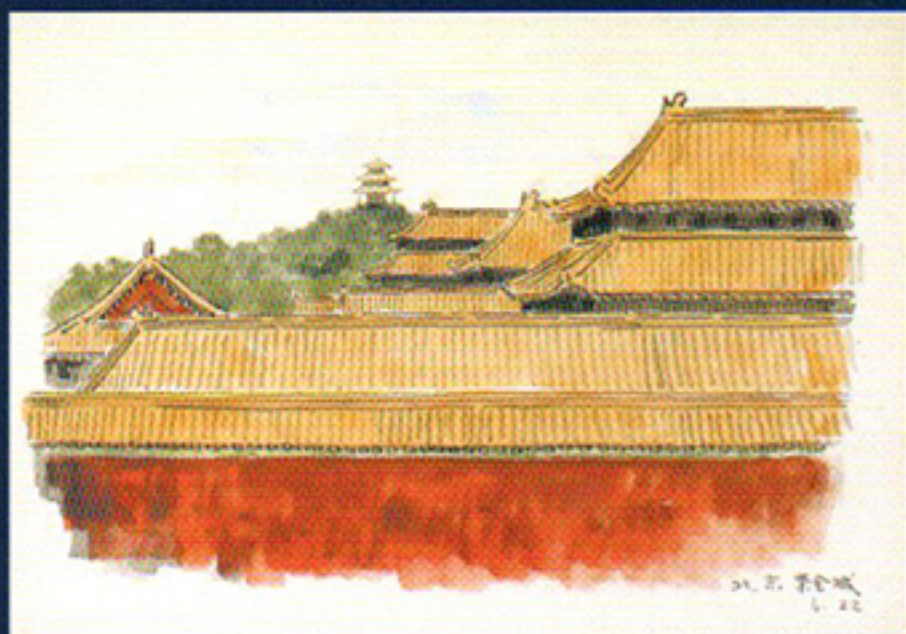




1



2



3

一口に素描といっても、写実的なデッサンもあれば一筆描きのようなクロッキーまでいろいろあります。  
(中略)

デッサンの究極的目的は、  
生きている真実の線を使って創造活動することであり、  
作品を制作するための準備段階の一過程です。

『住友林業1997CALENDAR』より

本展では大山が「意識しなくとも作品に描いてみたいという気持ちが湧いてくる」と語り、多くの素描をのこした東洋に焦点をあてて展示いたします。作品制作にあたり常に心がけていた“丁寧に描く”の原点に触れてください。  
(会期中展示替えがあります。くわしくは美術館まで。)

## 大山忠作 東洋への旅

- 1968年(昭和43) 46歳 日本画家の加藤東一らと共に  
インド・東南アジア旅行  
(インド・ネパールなど)
- 1973年(昭和48) 51歳 東南アジア旅行 (インドネシアなど)
- 1974年(昭和49) 52歳 大分県・国東半島を旅行
- 1979年(昭和54) 57歳 中国旅行 (桂林など)
- 1988年(昭和63) 66歳 中国旅行 (西安など)
- 1990年(平成2) 68歳 中国旅行 (敦煌)

### 【裏面掲載作品】

- 1 《浄晨》
- 2 《紫禁城(紫禁城A)》※前期のみ展示
- 3 《連獅子》

### 交通案内

◇JR東北本線  
二本松駅下車…徒歩3分

◇東北自動車道  
二本松ICより5分

※駐車場は二本松市市民交流センター北側の立体駐車場をご利用ください。(有料)



## 大山忠作 美術館

〒964-0917 福島県二本松市本町二丁目3番地1  
(二本松市市民交流センター3階)

TEL 0243-24-1217 FAX 0243-24-1218  
<http://www.nihonmatsu-ed.jp/oyama/>



大山忠作美術館  
ホームページ